

ハイチ地震1年で

現地の音楽家のCD制作

今月12日のハイチ地震発生1年に合わせて、被災地を支援し交流するきっかけにと、広島県福山市でカフェ&ライブハウスを経営する手島裕さん(56)が、岡山をはじめ全国各地で復興支援コンサートを開催した同国を代表するミュージシャン、アゾールさん(46)のライブCD「ハイチアン・スピリチュアル・ウインド」を制作した。手島さんは「ハイチの人々に『忘れていないよ』のメッセージを届けたい」と話している。【中尾卓英】

岡山などで演奏会 広島の手島さん

地震では、23万人以上が犠牲になり首都機能も崩壊。世界最貧国に数えられる同国では、避難キャンプの衛生悪化で被災者にコレラがまん延しており、国際医療救済団体「AMDA」(北区)が昨年未まで現地で緊急医療支援に当たった。

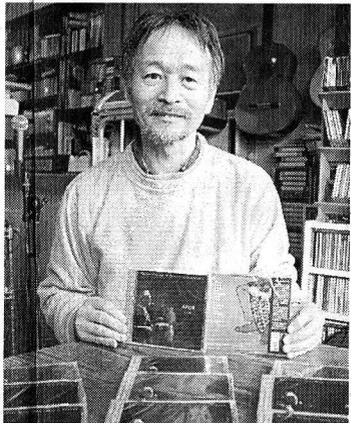
90年代から同国のミ

具製作や学校再建支援に役立てた。CDには02年、アゾールさんが名古屋市のライブハウスで演奏した全12曲を収録。同国の民族楽器タンブー(太鼓)の音色は「ベースの音が聞こえるようなメロディックな演奏」と絶賛され、スピリチュアルあふれるメロディーが堪能できる。

コンサートをきっかけに手島さんが輸入販売する同国のコーヒー豆「カフェ・クレオール」を継続的に購入する市民が増えた。手島さんは「復興には遠い道のりだが、友人として出来ることを続けていきたい」と話す。

CDは1枚2500円で、うち500円を復興支援にあてる。12

1枚に500円を復興支援に



ハイチに「忘れてないよ」のメッセージを届けたいと話す手島裕さん

日午後7時から、手島さんの経営する「ポレポレ」で、備後地方のミュージシャンがブルースなどを演じるハイチ・チャリティーライブもある。問い合わせはポレポレ(084・925・5004)。